



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年7月28日

上場会社名 アイエックス・ナレッジ株式会社
 コード番号 9753 URL <https://www.ikic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 安藤 文男
 (氏名) 石井 嘉範
 TEL 03-6400-7000

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,088	4.6	108	7.7	129	5.6	86	5.4
29年3月期第1四半期	4,287	0.6	101	9.3	122	2.8	82	0.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	8.37	
29年3月期第1四半期	7.70	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	8,488	3,994	47.1
29年3月期	8,694	4,040	46.5

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 3,994百万円 29年3月期 4,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				10.00	10.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,624	1.8	690	16.3	724	14.5	479	17.7	45.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	11,800,000 株	29年3月期	11,800,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,520,061 株	29年3月期	1,413,640 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	10,358,619 株	29年3月期1Q	10,689,275 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

情報サービス市場におきましては、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、IoT、AIなどの技術を活用した「攻めのIT」投資が、今後さらに拡大していくと予想されます。

このような状況において当社は、中期経営方針（IKI VISION 2020）を策定し、「しっかりとしたモノ（システム）づくりと高品質なサービスの提供」により、「すべてのステークホルダーから選ばれる企業」をビジョンとして掲げ、中核事業の拡大や事業基盤の強化、さらには次期成長事業の創出に積極的に取り組んでまいりました。具体的には、自動車産業における車載組込みシステム開発分野への取り組みを継続的に推進するほか、新規事業の育成に向けたブロックチェーン技術の調査研究などに着手してまいりました。

当期間での動向を品目別に見ますと、コンサルティング及びシステム・インテグレーション・サービスでは、メガバンク向け次期システム開発や投資信託系の開発案件等が堅調に推移したほか、大手通信事業者向けのシステム検証案件を受注する一方で、前年同期にあった大型請負案件をカバーするには至らず、売上高は微減となりました。また、システムマネジメントサービスにおいては、既存業務を堅守し、売上高は横ばいとなりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高が4,088百万円（前年同期比4.6%減）、利益面では営業利益108百万円（前年同期比7.7%増）、経常利益129百万円（前年同期比5.6%増）、四半期純利益につきましては86百万円（前年同期比5.4%増）を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における資産合計は8,488百万円となり、前事業年度末に比べ205百万円減少しました。これは主に「現金及び預金」の減少184百万円、「売掛金」の減少157百万円、「仕掛品」の増加123百万円によるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債合計は4,493百万円となり、前事業年度末に比べ159百万円減少しました。これは主に「賞与引当金」の減少412百万円、「その他」に含まれる「預り金」の増加165百万円、同じく「その他」に含まれる「未払費用」の増加127百万円によるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産合計は3,994百万円となり、前事業年度末に比べ46百万円減少しました。これは主に「自己株式」の増加37百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の46.5%から47.1%となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の業績および現状の事業状況、事業環境を勘案しました結果、概ね本年5月1日に公表しました業績予想の範囲内で推移しており、現時点において同予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,510,992	3,326,700
受取手形及び売掛金	2,383,519	2,226,180
商品及び製品	-	3,641
仕掛品	212,122	336,065
繰延税金資産	319,882	319,882
その他	180,701	197,503
流動資産合計	6,607,219	6,409,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	102,306	100,092
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	43,258	38,972
土地	116,992	116,992
リース資産(純額)	4,427	3,597
有形固定資産合計	266,985	259,655
無形固定資産		
ソフトウェア	36,620	33,693
その他	8,689	8,689
無形固定資産合計	45,309	42,383
投資その他の資産		
投資有価証券	863,180	868,777
繰延税金資産	626,401	622,605
その他	285,057	284,995
投資その他の資産合計	1,774,638	1,776,378
固定資産合計	2,086,934	2,078,417
資産合計	8,694,153	8,488,391

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	545,619	551,311
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払金	282,520	293,913
リース債務	3,373	3,381
未払法人税等	130,981	62,740
賞与引当金	849,062	436,857
受注損失引当金	20,521	38,247
その他	213,386	549,220
流動負債合計	2,105,464	1,995,671
固定負債		
長期借入金	105,000	90,000
リース債務	1,131	283
退職給付引当金	2,299,071	2,308,045
資産除去債務	63,481	63,495
長期末払金	79,195	36,200
固定負債合計	2,547,879	2,498,023
負債合計	4,653,344	4,493,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,482,919	1,482,919
利益剰余金	1,606,069	1,588,941
自己株式	△437,363	△474,948
株主資本合計	3,832,523	3,777,809
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	208,286	216,886
評価・換算差額等合計	208,286	216,886
純資産合計	4,040,809	3,994,695
負債純資産合計	8,694,153	8,488,391

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,287,918	4,088,905
売上原価	3,552,451	3,405,105
売上総利益	735,467	683,799
販売費及び一般管理費	634,450	574,986
営業利益	101,016	108,813
営業外収益		
受取配当金	20,685	20,293
為替差益	308	-
その他	1,193	1,204
営業外収益合計	22,187	21,497
営業外費用		
支払利息	510	371
支払手数料	-	396
その他	33	45
営業外費用合計	544	813
経常利益	122,660	129,497
特別利益		
会員権売却益	50	-
特別利益合計	50	-
特別損失		
会員権評価損	1,950	-
固定資産廃棄損	14	-
特別損失合計	1,964	-
税引前四半期純利益	120,745	129,497
法人税等	38,445	42,762
四半期純利益	82,300	86,735

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。